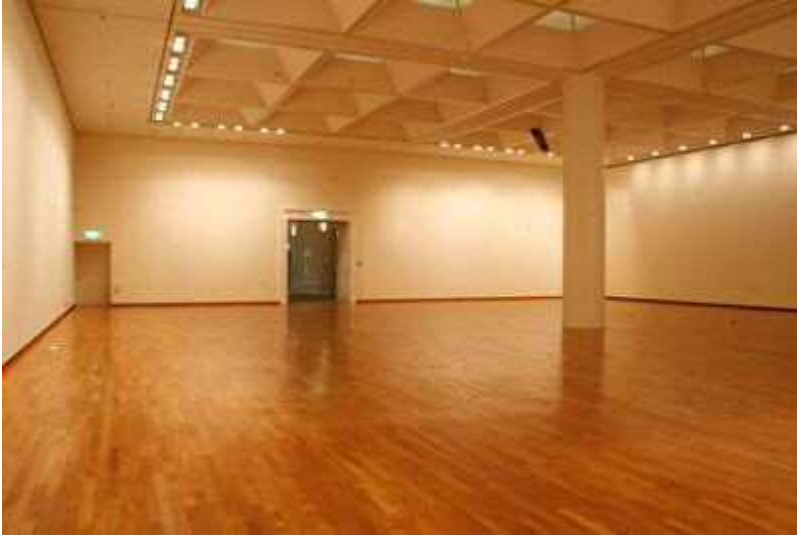


愛知芸術文化センター10階の愛知県美術館企画展示室、所蔵品展示室での展示は7月11日で一旦終了しました。そして8月に始まるあいちトリエンナーレ2010の開催に向けて準備が始まっています。

その最初として壁のお化粧直しを行いました。これまでは壁から作品が全く消えることはなかった所蔵作品の展示室ですが、今回は開館以来初めてすべての展示室から一旦作品を撤去して、汚れが目立ってきた壁の塗り直しを行いました。



限られた時間内に作業を行うために、多数の作業員が従事して作業は行われました。さすがに広い壁も見見るうちに塗られていくのでした。とはいえ高い壁は6メートル近くもあり、また可動壁も含めて全て塗り替えるため大変な作業で5日間を要しました。



展示室によっては普段可動壁で仕切られ、作品が壁に架かった状態しかご覧になれないのですが、きれいにお化粧直しが終わった後は、この写真のように可動壁が全て収納され、広々とした空間が広がっています。この展示室 5 では動物彫刻の三沢厚彦さんとインスタレーション豊島秀樹さんのコラボレーションの展示が予定されています。この大きな部屋を二人だけで使われます。どんな展開になるのか乞うご期待！（ST）